

平成19年度  
文部科学省研究開発評価シンポジウム  
～大学における研究のマネジメントと評価～

平成20年3月6日

文部科学省 科学技術・学術政策局  
評価推進室

# 1. シンポジウムの主旨・テーマ

## 【主旨】

- 文部科学省では、「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」のフォローアップとして、平成15年度より、現場の各研究機関における具体的な評価活動の実態と課題を把握するための意見交換を行い、結果を評価の実例集として取りまとめ。
- 特徴的・先進的な実例については、シンポジウムやワークショップ等を通じて、情報を共有。
- 平成19年度は、大学における評価活動に関する意見交換を実施したところ、このたび、大学をはじめとする研究機関における研究評価の効率化及び充実を促進するとともに、評価関係者の評価意識の向上や評価関係者同士の連携促進を目的として、シンポジウムを企画。

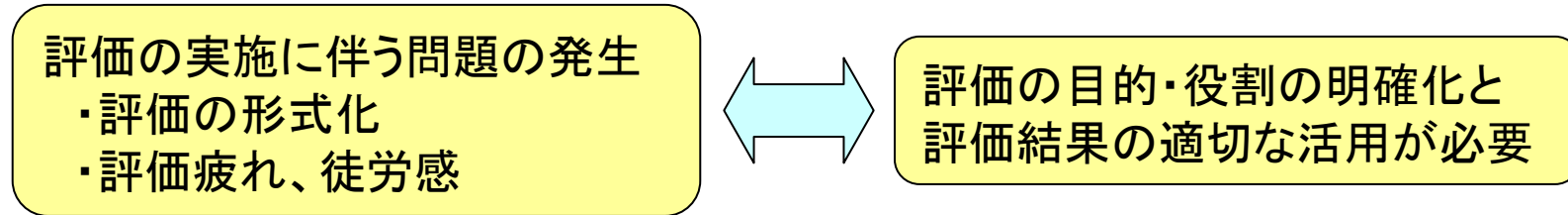
## 【テーマ】 大学における研究のマネジメントと評価

「評価のための評価」に陥ることなく、「マネジメントへ活かされる評価」という観点で、各大学が果たすべき使命に向けて、意欲的に研究のマネジメントを行い、積極的に評価を活用している4つの大学の実例を

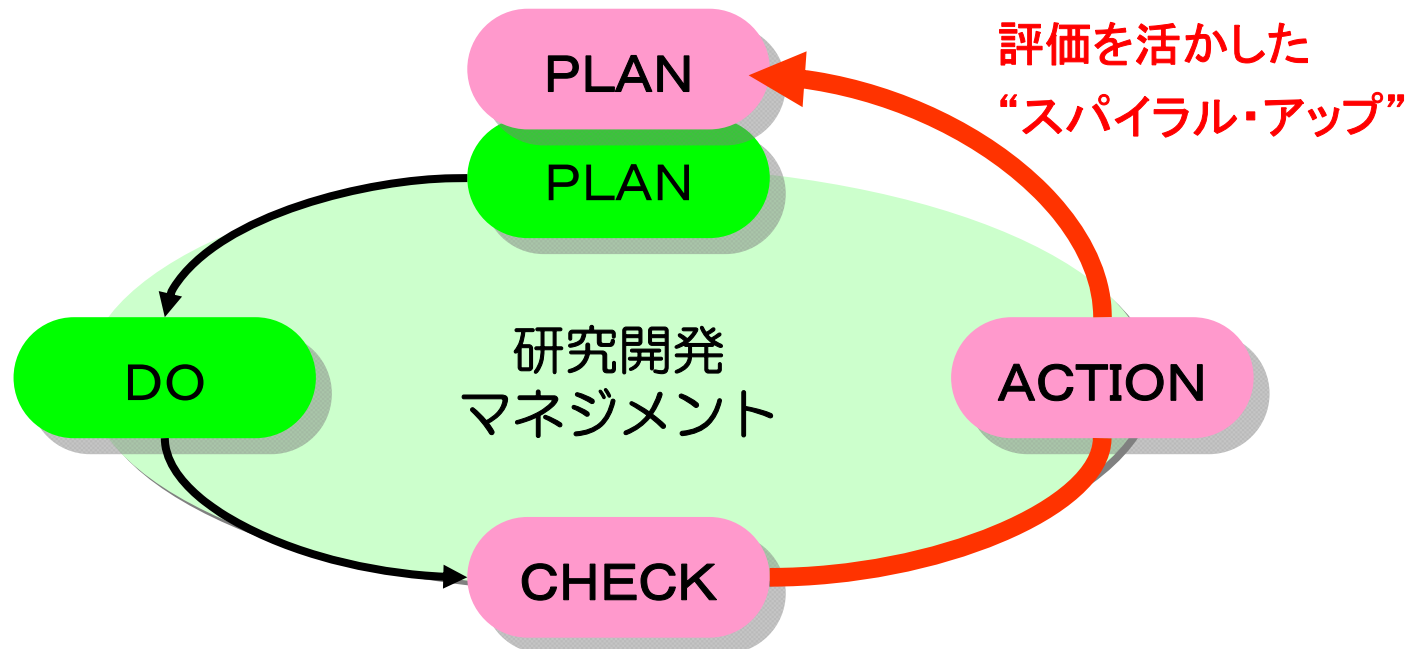
- ・仕組みを構築していくこととなった“きっかけ”
- ・構築・運用にあたって工夫した点
- ・問題となったこと
- ・今後の課題

についても触れてご紹介いただくとともに、フロアの参加者を交えて意見交換を行います。

## 2. 研究開発マネジメントに活かす評価



“評価のための評価”から“研究開発マネジメントへ活かす評価”へ



### 3. 研究評価活動に関する意見交換の内容

#### ① 大学・部局等において実施されているマネジメントについて

- ・ 研究のマネジメントに必要な情報収集・現状把握の手段・方法
- ・ 得られた情報のマネジメントへの活用のプロセス。マネジメント実施者・組織や助言組織の構成と役割

#### ② 大学・部局等が主体的に実施している評価活動について

- ・ 機関評価、部局等についての組織評価、学内競争的資金配分のための研究課題評価等、研究に関わる評価活動
- ・ 学外競争的資金獲得を目指す評価、学外競争的資金に基づく研究組織や課題に関する内部評価・自己点検等の活動
- ・ 大学が主体的に実施している評価・点検を法人評価や認証評価等の第三者評価へ活用する場合の方法・課題・問題点等

#### ③ 上記①のマネジメントと上記②の評価活動との関係について

- ・ 評価結果がマネジメントへ活用されているか。また、活用する際の方法・課題・問題点等とは。
- ・ マネジメントの視点からの評価とは。

## 4. 意見交換にご協力いただいた大学等

区分	大学	部局等
国立大学	東北大学	理学研究科、工学研究科
	山形大学	人文学部、工学部
	浜松医科大学	光量子医学研究センター
	神戸大学	経済経営研究所
	広島大学	医歯薬学総合研究科
	山口大学	人文学部
	愛媛大学	農学部
	九州大学	生体防御医学研究所
	鹿児島大学	水産学部
	奈良先端科学技術大学院大学	情報科学研究科、バイオサイエンス研究科 物質創成科学研究科
公立大学	大阪府立大学	工学研究科
私立大学	法政大学	IT研究センター、地域研究センター
	南山大学	数理情報学部、南山宗教文化研究所
	立命館大学	総合理工学研究機構
部局等		東京大学サステイナビリティ学連携研究機構

## 5. 実例紹介大学・部局におけるマネジメントと評価の特徴

区分	大学・部局名	特 徴
国立大学	九州大学	<p>○総長を機構長とする部局俯瞰型の高等研究機構において、研究に関する全学的なマネジメントと研究プロジェクトの評価を実施。総長直轄による戦略的・機動的な研究推進体制を構築。</p> <p>○大学全体及び一部の部局において、QUEST-MAPを作成し、学外のステークホルダーの視点も含めた将来構想や戦略策定を行うなど、意欲的にマネジメントを実施。</p> <p>○多彩な公募型プロジェクトにおいて、それぞれに評価を実施しマネジメントに活用。</p>
国立大学	神戸大学	<p>○全学の長期構想「神戸大学ビジョン2015」を策定。ビジョン実現のために妥当な施策であるかを意識した評価体制が出来上がりつつある。</p> <p>○「神戸大学自己点検・評価指針」を策定し、評価に関する全学的な取り決めを明示。教員評価と組織評価からなる評価活動は、各部局で自律的に実施し、統一的な評価基準は設定せず、部局や個人の自己評価を尊重し、改善を目指す評価。部局によっては、数十の評価指標の点数化による評価を実施。</p>
私立大学	立命館大学	<p>○研究高度化に関する中期計画を策定。具体的な実施施策として、既存の学内助成制度を統合・新設。学内助成制度において、副学長(研究担当)を中心とする審査委員会において審査が行われ、審査結果に応じて、採択者の選考及び研究費の配分を実施。</p>
部局	鹿児島大学 水産学部	<p>○平成16年度より他の学部在先駆けて教員評価を導入。また、大学として導入を進めている個人業績を主とした構成員評価に加え、組織主導による取り組みに関する構成員評価も実施し、学部の実績のほぼすべてを把握することが可能。</p> <p>○得られた情報は、構成員の全員参加によるPCM(Project Cycle Management)ワークショップ等を通して、マネジメントに活用。</p>